

Q：授業では夜間の星の観察ができません。どうすればよいですか。
【4年】

A：準備学習を十分にし、家庭での観察を！

学校で天体観望会を行うことも考えられますが、多くの学校では、夜間の星の観察は、保護者の協力を得て家庭で行っているようです。ただし、家庭で行うときは、次のような準備をして、子どもたちが観察しやすいように配慮しましょう。

○観察する方向を明確に指示する

何時ごろ、どの方向を、どのくらいの角度で見上げればよいかをできるだけ正確に指示してください。そのために、児童には事前に自宅での方位（東西南北）を確認させておくようにしましょう。昼に太陽が見える方向がおおむね南です。

○写真やイメージ図を配布する

見つけるべきターゲット（星座など）の写真，イラストやイメージ図を配付しておくとうよいでしょう。星座早見盤の使い方を，事前に学習しておくとうよいでしょう。

アドバイス：

- ・夜間の観察ですので，保護者にも趣旨を十分に説明して安全な観察に協力してもらいましょう。
- ・特別な天文現象に着目して，児童の興味関心を喚起することも大切です。月食や日食，すい星，流星群などは，教科書では扱っていなくてもマスコミで取り上げられて話題になることが多いものです。このような特別な天文現象をよい機会ととらえ，ぜひ児童に観察することを勧めてください。なかには，一生に一度しか見るチャンスがないものもあります。
- ・観察がうまくできなかった児童には，視聴覚教材を視聴させるなどの工夫をしましょう。

【参考HP】

国立天文台

<http://www.nao.ac.jp/>

A s t r o A r t s

<http://www.astroarts.co.jp/news/index-j.shtml>

月刊天文ガイド

<http://www.seibundo-shinkosha.net/tenmon>